

答え ・ 考え方

1 9を^{めざ}目指そう

答え

えらんだ数に9をかけます。

考え方

順番にならんだ^{めいれい}命令にそって計算していく^{もんだい}問題です。コンピューターに命令をする場合にも、このように命令を細かく分けて順番にならべるひつようがあります。

この問題では、「えらんだ数に2をかけます。」と「えらんだ数に9をかけます。」のどちらが合っているか、^{りょうほう}両方の場合について、計算して考えるとよいでしょう。

たとえば、えらんだ数を「726」とします。

「えらんだ数に2をかけます。」の場合は、 $726 \times 2 = 1452$

1452のそれぞれの位の数をたします。

$$1 + 4 + 5 + 2 = 12$$

1けたの数ではないので、もういちどそれぞれの位の数をたします。

$$1 + 2 = 3$$

となり、答えが9になりません。

「えらんだ数に9をかけます。」の場合は、 $726 \times 9 = 6534$

6534のそれぞれの位の数をたします。

$$6 + 5 + 3 + 4 = 18$$

1けたの数ではないので、もういちどそれぞれの位の数をたします。

$$1 + 8 = 9$$

となり、答えが9になります。

えらんだ数が18の場合など、どちらの計算でも答えが9になることがあります。その場合は、ほかの数でもなり立つかたしかめるとよいでしょう。

2 こん虫の名前を調べよう

答え

- ① ナナホシテントウ ② ハラビロカマキリ
- ③ ショウリョウバッタ ④ ニジュウヤホシテントウ
- ⑤ キイロテントウ ⑥ トノサマバッタ

考え方

- ① からだが、まるい形をしている。はねに、点がある。はねのもよりの点の数が、10こよりも少ない。
- ② からだが、まるい形をしていない。うしろあしが、ほかのあしよりも目立って大きくはない。はねに、小さな白い点がある。
- ③ からだが、まるい形をしていない。うしろあしが、ほかのあしよりも目立って大きい。頭が、とがっている。
- ④ からだが、まるい形をしている。はねに、点がある。はねのもよりの点の数が、10こよりも多い。
- ⑤ からだが、まるい形をしている。はねに、点がない。はねではないところに、点がある。
- ⑥ からだが、まるい形をしていない。うしろあしが、ほかのあしよりも目立って大きい。頭が、とがっていない。

それぞれの写真のこん虫について、ひとつずつじゅんをお追ってとくちょうにあてはまるかどうかを調べていきます。たとえば、①のナナホシテントウであれば、からだが、まるい形をしているので、さいしょは「はい」となります。次に、はねに点があるつぎので、こちらも「はい」です。そして、はねのもよりの点の数は、10こよりも少ないので、「いいえ」とすす進むと、ナナホシテントウにたどり着きます。

生き物は、カブトムシのようにぱっと見ただけでしゅるいがわかるものもいますが、テントウムシのなかまのように、細かい部分ぶぶんまでしっかりと調べなければしゅるいがわからないものもいます。

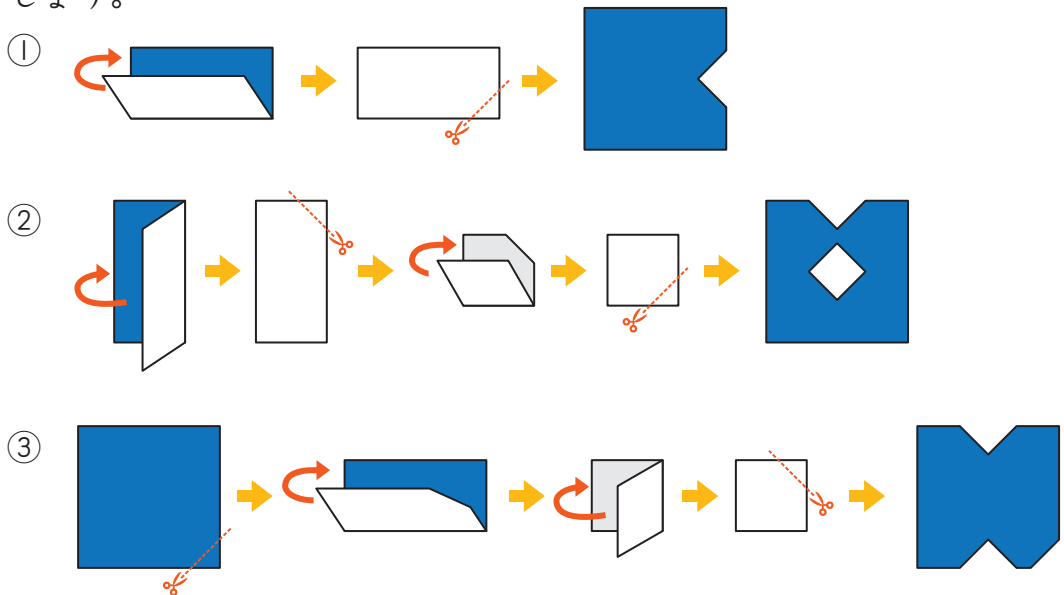
③ 形作りにちょうせんしよう

答え

- ① 右下の角を切る
- ② (上からじゅんに) 右上の角を切る, おり紙をたてに半分におる, 右下の角を切る
- ③ (上からじゅんに) 右下の角を切る, おり紙をたてに半分におる, 右上の角を切る

考え方

「この手順をえらんだらどうなるかな?」「手順をならべかえるとどうなるかな?」と試行錯誤しながらとく問題です。頭の中だけで考えるのがむずかしい場合には、おり紙などの正方形の紙を使^{つか}って考えましょう。



②と③のように、えらんだ手順が同じでも、ならべ方がちがうと、ちがう形ができます。いろいろと手順をならべかえて、どんな形ができるかをたしかめてみてもよいでしょう。